2018 年 6 月　（第 1 版）　　承認番号　23000BZX00126000

機械器具 8 保育器

高度管理医療機器 定置型保育器 JMDN 36025000

特定保守管理医療機器　　ジラフ オムニベッド ケアステーション

再使用禁止　　(ディスポーザブル体温プローブ)

【禁忌・禁止】

1. 体温プローブはアースと絶縁しないこと。
   [新生児の安全性を損うおそれがあるため]
2. 本製品はディスポーザブル品のため再使用は行わないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状

製品の外観

構造・構成ユニット

・本装置は、新生児の体温測定に用いる単回使用のディスポーザブル体温プローブである。

カタログ番号	品名
2074816-001	ディスポーザブル体温プローブ(10 個入り)
2074817-001	ディスポーザブル体温プローブ(50 個入り)

【使用目的又は効果】

使用目的

本製品は、新生児が外的生活に順応可能となるまでの間、適切な温湿度及び高酸素環境下に新生児を保育することを目的として、一般に本用途のために病棟、診療科内に維持される定置型保育器である。

【使用方法等】

使用方法

1. 体温プローブは、ベッド四隅のチューブ管理グロメット又は背面の大型スロットグロメットから通し、ジラフ オムニベッド ケアステーションのプローブパネルのコネクタ 1 に接続すること。
   ジラフ オムニベッド ケアステーションのコントロールパネルの「ベビー体温」に温度が表示されることを確認すること。
2. 新生児の皮膚が清潔で乾燥していることを確認すること。
3. 体温プローブのセンサー側を新生児の皮膚に密着させ、皮膚にしっかりと貼り付けること。
4. 体温プローブの密着具合を定期的に確認すること。
5. プローブを肌から取り外す時は、粘着パッチをゆっくりと持ち上げること。
   また、プローブをジャックパネルから取り外す時は、パネルのプラグを掴むようにして外すこと。

使用方法等に関連する使用上の注意

1. 体温プローブを新生児とマットレスの間に置かないこと。
   [正確な検温が出来なくなるため]
2. 反射フォイルを使い捨てプローブから取り外さないこと。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. ベビーモードを選択するときは、体温プローブコネクタ 1 側に接続すること。
   コネクタ 1 及び 2 を同時に接続しているときは、ベビーモードは作動しない。
2. 光線療法を併用するときは、体温プローブに放射熱が直接当たるように設置すること。
   光線療法の光線が届かない位置には体温プローブは装着しないこと。
3. 体温プローブの密着具合を定期的に確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

周囲温度：　-20～60℃
相対湿度：　包装含め結露なきこと。

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

1. 目視による点検
(1) 外観の確認
　製品の外観に異常がないことを確認すること。
　・損傷や摩耗がないこと。
(2) 清浄性の確認
　清浄な状態であることを確認すること。
　・洗浄等は行わないこと。
(3) 機能の確認
　・製品の正常状態の確認
　　正常状態・正常動作を確認すること。
　・異音、異臭がないことを確認すること。
(4) 安全機能の確認
　全てのケーブルやコネクタが安全にセットされているか確認すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：
GEヘルスケア・ジャパン株式会社
住所：　〒191-8503　　東京都日野市旭が丘 4-7-127

お問い合わせ先：　消耗品受注センター
電話：　0120-187-855
FAX：　042-582-6923

製造業者：　オメダメディカル
(Ohmeda Medical)
国名：　アメリカ合衆国

社内部品番号：　5803412

取扱説明書を必ずご参照ください。